

令和7年度 岡山県立岡山操山高等学校(通信制課程) 学校経営計画書

令和7年4月1日

○本校(本課程)のミッション(使命、存在意義)

幅広い知識と教養を培い、多様な学習ニーズに応える県立通信制高校として、一人一人の状況に対応した添削指導やスクーリング指導等により、主体的に学ぶ姿勢や自己管理能力を高める教育活動を通して、様々な場で活躍し、社会に貢献する人材の育成を目指す。

○教育目標

- 1 自ら学び、自ら考える力を養う。
- 2 他人を思いやり、自分を大切にする心を養う。
- 3 自らを律し、社会に貢献する態度を養う。

○内外の環境分析

(校内について)

□学校の特色

- ・さまざまな入学動機や学習歴を持つ生徒、学校不適応の生徒等、多様な生徒が在籍している。
- ・自分のペースで学ぶことが可能で、学び直しや新しい自分の発見ができる。
- ・単位制と前後期制のメリットを生かし、一人一人の状況にあった受講プランを作成している。

□内部的課題

- ・多様な学習ニーズに対応した教育システムの構築が求められている。
- ・単位修得率の向上を見据えた自己管理を促す指導と支援体制の充実が求められている。
- ・転入生の増加に伴い卒業後の進路選択に向けた指導と支援が重要になっている。

(校外について)

□外部環境

- ・生徒、保護者、中学校、高校等から、学び直しのできる学校として期待されている。
- ・近くにJRの駅もあり、通学しやすい。車で通学することもできる。
- ・通信制高校への進学者が増加傾向にある。県内でも通信制課程を新設する学校やサテライト施設を設置する学校が増加している。

□外部的課題

- ・通信制課程での学びに対する一般の認知度が低いことから、本課程への理解と協力を得にくい。
- ・登校日数が限られているため、保護者や地域と連携した教育活動を行いにくい。
- ・高校への入学希望者が適切に進路選択できるよう、本課程の学習の特徴について情報発信が必要。

○目指す学校像

- ・多様な生徒に対応した添削指導・個別指導の充実した学校
- ・教職員が、生徒に積極的に関わる熱意を持ち、自己研鑽に取り組む学校
- ・生徒の個性を生かし、社会に貢献できる人材を育てる学校

○本年度の具体的な学校経営目標

【確かな学力の定着】

[目標] 学ぶ楽しさを実感することで、自ら学びに向かう力の育成を図る。

- 通信制課程における個別最適な学びと協働的な学びを進め、スクーリングとレポート添削指導を進化させる。
- 生徒会活動や特別活動等において主体的な活動を推進する。

【キャリア教育の充実】

[目標] 進路実現や社会参加に向けた意欲の形成を図る。

- 外部機関と連携して、生徒の状況や希望に応じた伴走型の進路支援を行う。
- 「キャリアパスポート」や「進路の手引」を有効に活用する。

【安全で安心な教育環境づくり】

[目標] 生徒の心身の健康の増進と自己肯定感の高揚を図る。

- SC、SSW、関係機関、中学校等との連携を深め、気になる生徒の早期発見と早期対応を行う。
- 自他ともに尊重する意識が向上するよう、特別活動の充実を図る。

[目標] 積極的に情報を公開し、本課程への理解と協力を得る。

- ホームページや機関紙『操山通信』、学校説明会の充実を図る。
- 通信教育実施計画等を適切に公開する。